



冬休みさいせん図書(3・4年)



平成30年12月 杉教研学校図書館部

もうすぐ冬休みです。いつもより少し長い本を読んでみるのはいかがでしょうか。
部屋をあたたかくしてゆっくり読書もいいですよ。

「あらしのよるに」

きむらゆういち

講談社

ある嵐の夜、ヤギのメイと、オオカミのガブは山小屋に避難した。真っくらやみの中、かぜ気味で鼻の利かない2匹は、お互いの正体を知らないまま、夜の間語り合った。そして、意気投合して、「あらしのよるに」を合い言葉に、再び会う約束をする。さて、2匹の運命は？

「なんでもただ会社」

ニコラ・ド・イルシング

日本標準

いたずらずきのティエリーは、パパとママが出かけている間に電話でいたずら。つながった相手は、ほしいものをなんでもただでくれる会社だった。信じられないようなドキドキ、ハラハラする不思議な物語。さて、なんでもただ会社の会員になったティエリーはどうなるのだろうか？

「いきものちえくらべ」

写真：海野和男 中村庸夫

文：嶋田泰子

童心社

大人になって子孫を残す、それがいきもの大事な仕事。それには、生き延びなければならぬ。強いものそっくりになったり、危険なものそばで暮らすことを選んだり、敵の目を逃れるための知恵がいっぱい。そんな生き物たちの、知恵くらべを楽しんでみてください。

「うんこ図鑑」

荒俣宏

日本図書センター

これは、「うんこ」の本です。びっくりするようなうんこの話を、イラストと一緒に紹介しています。調べたり比べたりしながら、「うんこ」の「なぞ」がどんどんとけていくようで、読みごたえたっぷり。大人も楽しめる本です。

「孫たちは帰らない」けれど」

失われた「ふるさと」を求めて

写真・文：豊田直巳 農山漁村文化協会

自然豊かな故郷しぜんゆたかなふるさとの村が、放射能ほうしゃのうによって「帰れない村」に。一方、仮設住宅かせつじゅうたくで過ごすうちに、新しい友達もでき、近所づきあいも生まれて6年がたちました。ようやく仮設を出ていく日が近づいてきましたが、おばあちゃん達の思いおばあちゃん達の思いは複雑むくざつです。

「教科で学ぶパンダ学」

稲葉 茂勝著 小宮輝之監修 今人舎

みなさんはパンダについてどれくらい知っていますか。パンダは本来、中国の山奥に住む野生動物。この本は、パンダについていろいろな視点で見えていきます。読めばあなたも「パンダ博士」。さあ、パンダのことを深く知る旅に出かけましょう。

その他のおすすめの本

本の名まえ	作者	出版社
しりとりボクシング	新井けいこ	小峰書店
メリーメリーへんしんする	ジョン・G. ロビンソン	岩波書店
はたらくまち	ジェームズ・ガリバー・ハンコック	河出書房新社
日本の手仕事	遠藤ケイ	汐文社
どんなときも名探偵	杉山亮	偕成社
大どろぼうホッツエンプロツツ	プロイスラー	偕成社
月を知る	吉川真	岩崎書店
コンピューターってどんなしくみ？	村井純	誠文堂新光社
「負けてられねえ」と今日も畑に	豊田直巳	農文協
よくわかる人工知能	松尾豊	PHP研究所